

中期経営計画

「せいしん BUILD UP プロジェクト」 最終年度の取組み

我々、地域金融機関を取り巻く経営環境は、一段と厳しさを増しております。既に始まっている人口減少や高齢化による経済規模の縮小が、金庫経営に及ぼす影響は計り知れないものがありますが、「せいしん」はこのような変化を「脅威」ではなく「機会」として捉え、常に前向きに取組んでまいりました。

中期経営計画「せいしん BUILD UP プロジェクト」の最終年度である平成26年度は、本計画のビジョンである「強い経営体質の構築」の実現に向け、「強固な取引基盤の構築」、「人材育成と人材の有効活用」、そして「将来に向けた施策への着手」、の3つの事項を重要項目として活動してきました。1つ目の「強固な取引基盤の構築」では、これまで減少が続いておりました取引先数が、増加に転じることができました。これからも、「課題解決型金融の推進」や「経営改善に向けたお手伝い」の他、お客さまのニーズに合致した商品・サービスを提供していくことで、皆さまのお役に立ちたいと考えております。2つ目の「人材育成と人材の有効活用」では、地域との「共存共栄」を続けていくために必要な強い経営体質の構築に向けて、より質の高い金融サービスを提供できる人材の育成に努めてまいりました。特に、女性を中心とした内勤者の活動領域を預金事務から資産運用や消費者ローンへと拡大すると



もに、女性職員の積極的な活用を推し進めてまいりました。3つ目の「将来に向けた施策への着手」においては、少子高齢化社会を勝ち抜くための店舗のあり方や、人事制度の抜本的な改革のほか、融資や預金窓口業務の効率化を図ってまいりました。

「せいしん」の サステナビリティ(持続可能性) への取り組み

平成27年度の日本経済を展望いたしますと、円安等による、緩やかな物価上昇基調が見込まれるなか、昨年度に引き続き、雇用・所得環境は改善するなど、堅調な民需に支えられた景気の回復が期待されております。中小企業の収益回復の勢いも徐々に増し、設備投資意欲の復活や賃上げに向けた動きも見えていますが、私は、当地域でこれらの動きが広がるまでには、今しばらくの時間が必要ではないかと見ております。

当地域においても、「人口減少」が深刻な問題になりつつあります。加えて、これまで地元経済を牽引してきた輸出産業の海外移転や後継者不足などを背景に、事業所数の減少も続いていることから、景況感を示すDIや経済指標は他地域に比べ、若干低めの数値が表れることが多くなっています。これまで経験したことのない人口減少時代を迎え、地方も地域金融機関もサステナビリティ(持続可能性)が課題となるなか、政府が主導する「地方創生」も本格的に動き出し、

地方自治体も長期的なビジョンをもった地域活性化策の検討に着手しております。「せいしん」は、「地方創生」に向けた一連の取組みを通じて、経済面を中心に環境面、社会面についてもバランスよく社会的責任を果たすことで、地域と共に成長し続けていきたいと考えております。

新中期経営計画 「礎(ISHIZUE)」がスタート

このような状況下、当金庫が地域やお客さまに必要とされる地域金融機関であり続けるためには、「地域経済の活性化」や「収益力の向上」、更には「人材育成」等に継続的に取り組んでいく必要があります。

当金庫は、これらの課題に対処していくため、平成27年度からの3年間を計画期間とする、新中期経営計画「礎(ISHIZUE)」を策定致しました。新中計のビジョンは、『いかなる環境下にあっても、地域と共に成長し続ける「せいしん」と致しました。計画初年度である平成27年度は、本ビジョンの実現に向け、「収益の安定確保」、「更なる経営体質強化への挑戦」、「地域プレゼンスの向上」の3つの事項を基本方針とした業務運営を行ってまいります。

私は、「地域」の成長が「せいしん」の成長に繋がるとの自負を持って、金庫経営に取組む姿勢が重要であると考えております。そのためには妥協を許さず、計画(Plan)・行動(Do)・検証(Check)・改善(Action)といったPDCAサイクルを徹

底し、新中計で策定された1つ1つの施策を着実に実行していくことで、地域の中で「信頼され」、「愛され」、そして「存在感を示す」ことのできる「せいしん」を目指していく所存です。

「せいしん」は、新中計を通じて5年先、10年先を見据えた盤石な経営基盤を構築し、新たなステージへとステップアップしたいと考えております。「せいしん」の存在意義は、地元の産業や地域住民へのサポート・活性化へ寄与するところがあり、「地域社会の繁栄に貢献する」経営理念のもと、役職員一同、不断の努力で取り組んでまいります。皆さまの今後の一層のお引き立て、ご支援をお願い申し上げます。



理事長 加藤 誠